

『紡ぐ』

2020.4.15 第2号
発行 教育相談室「あした塾」

鉄道ファンは



この場所、穴水町の人たちもあまり気に留めていない場所かも知れません。でも、もしもこの場所、穴水町の目玉になるかも…。

能登線の終着駅、穴水駅ではのスポットです。鉄道ファンにとってはたまらないかも。法に触れることなく「真正面から電車を撮れる」すごい場所です。

このおんな季節、あるいは雪の降る季節に、とびレアな写真が撮れるのではないかと思います。

「さくら駅」「カキ祭り」と抱き合いの宣伝をしたらどうでしょう!?

能登さくら駅人景ばら...



4月7日、さくら駅で有名な能登鹿島駅を訪れてみました。桜は、ほぼ満開と言ってよいくらいでした。

しかし、新型コロナウイルスの影響は、あたりは、とびレアなおいが漂っているのに、人影はあざう。

広い駐車場には10台ほどの車。富山ナンバー、金沢ナンバーが半ば。ほとんどが早く「新型コロナウイルス」おさまつてしまってますね。

提案モズガニ



穴水町は川の多い町です。昔は川がきいので、どこ川でもウグイ、ハヤ、アユ、エビ、そしてモズガニがいたのです。

川がダムで出来、魚道がなくなり、川も汚れて、そしてこの川は生き物があまり見られなくなりました。ちゃんと生きています。

特に「モズガニ」、美味です。ちょっと調査をして、繁殖を促し、行く行くは「おいもん祭り」、の仲間入りというようにできないでしょうか。皆さんの意見や考えが知りたいです。(匿名希望さん)

モズガニ：私たちが「モズガニ」と言うことがありますが、正しくは「モズガニ」とのこと

相談・投稿・情報は

「あした塾」に

「しんぶん『紡ぐ』への投稿や情報提供をお願いします。相談事も受け付けています。投稿などは誌面に掲載する場合は匿名でもかまいません。お待ちしております。

教育相談室「あした塾」

代表 滝井元之

住所 穴水町堀りの197

電話 56-1151 1152

FAX 56-1152

メール mototom67@gmail.com

統一地方選挙から一年です

昨年の統一地方選挙から一年が経ちました。議員の皆さんはそれぞれに活動を進めてきたと思います。昨今、議員の利手がないというふうなことで全国あちこちの自治体で話題になっています。そんなことが理由でゆがみ、しっかり分析して対応を考えていく必要はあるようです。

当芦屋町では、3月に大中正司議員が「大中正の市政・議会だより」を発行し、全戸配布を行いました。4月には山本祐孝議員が「山友会だより」を発行し、議員活動の様子を町民の皆さんに知らせています。議員の皆さんの活動は、どれだけ頑張っているにも町民に伝わらないことが多いのです。2人の議員の町民に知らせるという活動は、とても良いことです。芦屋町で、同時期に複数の議員が活動報告を出したという例はなかったと思います。大きな出来事です。

もし、議員の皆さんが何らかの形で活動を知らせる取り組みをしたとすれば、芦屋町ではもちろん県内、あるいは全国レベルでも初めてのことになると思います。歴史的な出来事とも言えます。「日本を初めて！」を目指して行っていくのでしょうか！



(ムスカリの花)



今、思うこと

町議会議員 小泉一明

「しんぶん『絆ぐ』」を読ませていただきました。
「絆ぐ」、いい言葉ですね。

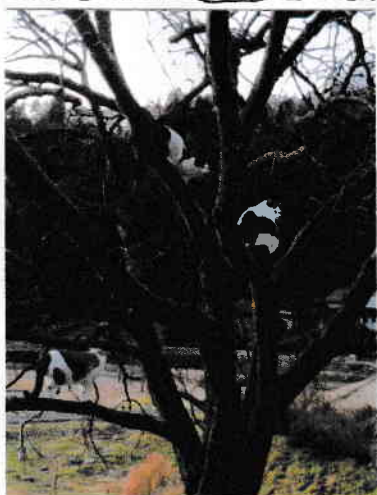
さて、今年も一般職4名を含め14名の職員が採用されました。私たちの

頃とは、人の心、考え、情報の伝わるスピードなどが随分変わりました。しかし、どんな時代も、礼儀をわきま、挨拶などはきちんとできる職員になってほしいと願っています。昨、今は多様性の時代です。それぞれの個性を理解し、うまく生かせるように、役職のある方、上司となる方々には、新人職員のモチベーションが下がることのない指導をしていただきたいと思います。

ところで、新型コロナウイルス感染は首都圏を中心に増え続け、私たちの住む所にも「じわじわ」と思ひ寄ってくる憂鬱です。大阪地検特捜部の捏造事件で被害者となった村木厚子さんは、手記で禍福は斜える（おぼえる）縄の如し」の心境を語っていました。

絶対的幸福はない、幸せと不幸の繰り返し。それが人生だ。しかし、人間社会は新型コロナウイルスに勝たねばなりません。行政の賢明な対応と私たちのひたむきな努力が重要だと考えます。

(皆さんの投稿・提案を待っています。)



木の育る木

家には「庭のネコ」。木登りが大好き。まるでネコになっている。散歩も大好き。よく公園に来る。おきく風景